

東剣居発第 20 号  
令和 5 年 10 月吉日

評 議 員  
役員・理事 各位  
事務担当者

(一財) 東京都剣道連盟居合道部会  
会 長 伊 藤 繁 男

## 第 27 回関東甲信越居合道大会 実施要項

標記の件、下記の通り実施いたします。多数のご参加をお待ちいたします。

### 記

1. 主 催 (一財) 東京都剣道連盟
2. 主 幹 (一財) 東京都剣道連盟居合道部会
3. 日 時 令和 6 年 1 月 13 日 (土)  
受付 午前 9 時 (南口ホール) 審判会議 午前 9 時 25 分(大武道場中央)  
七、八段受付は 2 階研修室前 開会式 午前 9 時 50 分
4. 場 所 東京武道館 大武道場  
足立区綾瀬 3-20-1 電話 : 03-5697-2111  
東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口 徒歩 5 分
5. 種 目
  - (1) チーム対抗優勝試合
    - ①1 チーム 3 名の代表選手 (三段の部、五段の部、七段の部) により  
対抗試合を行い、優勝、二位、三位を表彰する。  
各段に該当段位不在の場合は、下の段位の者にて充当することができる。
    - ②出場チーム各都県 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、新潟、  
長野、東京) 各 2 チーム、東京は各地区 2 チームまでとする。
  - (2) 個人演武  
段外より六段までは各段ごとに演武し、優秀者を表彰する。  
七段は集団演武とし、自由技 5 本とする。  
※段位は令和 5 年 10 月末日現在とする。
  - (3) 模範演武 八段の先生方により行い、自由技 5 本とする。

#### (4) 試合及び審判方法

##### A. チーム対抗優勝試合

- ①各地区の代表3選手を各段ごとに分けて、トーナメント方式により試合を行い総合点により順位を決定する。この他各段位ごとの個人表彰も行う。  
チームの選手に第58回全日本居合道大会出場者を組み入れないこと。
- ②試合方法は「全日本剣道連盟居合道試合、審判規則」に準ずる。
- ③演武の本数は5本とする。先に古流2本を抜き、その後指定技(当日発表)3本を抜く。
- ④礼法は「全剣連居合」の作法による。
- ⑤選手は同色の居合道着(筒袖)袴とし、左胸部にチームの入った名札をつける。
- ⑥審判員は個人演武参加の七段以上の先生の中から委嘱する。(紋服、白足袋可)

##### B. 個人演武

- ①チーム対抗優勝試合の選手は出場できない。
  - ②演武の本数は5本、初段以下は自由技、二段以上はAに準ずる。
  - ③礼法、服装等はAに準ずる。
  - ④選考委員は当日個人演武参加の七段以上の先生の中から委嘱する。
  - ⑤第58回全日本居合道大会出場選手は、別途公開演武とする。
- ※ ⑤の該当者は申込書の全日本大会出場選手の欄に○をつけること。

6. 参加資格 関東甲信越、一都九県の全剣連会員であること。

#### 7. 申 込

- ①申込期日 令和5年10月末日まで(厳守願います)
- ②申込場所 (一財)東京都剣道連盟居合道部会  
〒110-0015 東京都台東区東上野3-24-5-2F  
電話:03-5812-9633 メールアドレス:iaido@waltz.ocn.ne.jp

※ 別途申込書に所要の事項を入力の上、各県、各地区・各支部ごと  
まとめて上記メールアドレスにデータでお申し込みください。

8. 参加料 料金の納入は郵便局の振替でお願いいたします。

口座番号 00160-4-540953 口座名 東京都剣道連盟居合道部会

- ① チーム対抗優勝試合出場 1チーム 9,000円
- ② 個人演武 一般1人 3,000円
- ③ 中学生以下1人 1,500円

※ 八段の先生方は無料。但し参加の先生は、申込書に必ずご記入願います。

9. 大会プログラムの広告記載のお願い

原稿を添付してください。

◎1頁 10,000円    ◎1/2頁 5,000円    ◎1/4頁 3,000円

その他

- ※ 参加者は、マスクを着用すること。
- ※ 受付：東京都会員は支部単位、各県の方は県単位  
七段以上は二階
- ※ 駐車券のご希望はエクセルの中の駐車券のところに記入ください。  
枚数僅少のため多数の場合はご希望に添えない場合があります。
- ※ 貴重品の管理は各自でお願いします。盗難にご注意ください。
- ※ 目釘の点検、怪我の予防に十分ご注意ください。
- ※ 14時までに弁当の空箱を受付へ戻してください。ゴミは各自持ち帰りです。
- ※ 本大会におけるビデオ撮影について  
撮影した映像を youtube, SNS等にアップして拡散することは厳に慎んで  
いただくようお願いいたします。  
個人的に研究するものについてはこの限りではありません。